



仙台市医師会の安藤先生と懇談(8月24日)  
市民の健康増進と政策について、積極的な意見交換会を行いました。



「仙台湾岸運河群の歴史と記憶を伝える」講演会に顧問として参加(10月2日)  
江戸時代の太平洋海軍の要港で、幕府の御米や伊達藩・米沢藩の江戸運米の港として栄えた寒風沢について学びました。



陸上自衛隊東北方面隊  
総隊62周年記念行事に参加(9月25日)



小鶴市菅住宅内の側溝脇の修繕



小田原1丁目(国道45線沿い)  
歩道を国会議員と連携し修繕



地元町内会主催の芋煮会にお邪魔しました(10月2日)



区内出身の  
アーティスト美雲さんと  
ツーショット(9月19日)  
素晴らしいお話しと歌声、  
ありがとうございました。



納涼祭(7月31日)  
暑い中、3年ぶりに幸町の納涼祭が開催され、挨拶させて頂きました。感染対策を行いながらの開催となりましたが、多くの地域の方々に参加されました。



登校拒否・不登校を考える夏の  
全国大会～気仙沼市にて  
(8月22日)  
尾木直樹氏(尾木ママ)の記念講演  
「大丈夫!不登校～多様な学び・生き  
方に向かって～」は、日本の教育の  
あり方を見つめ直す講演でした。  
教育機会確保法の周知が必要です。

## 市民サービスの向上・文化振興から 福祉・コロナ対策に至る幅広いテーマに 全力で取り組みます。

全国高校野球選手権大会で、仙台育英学園高等学校が初優勝。ついに深紅の大優勝旗が白河の関を超えました。9月5日には須江監督はじめ野球部の皆さんが来庁され、仙台市としてこの度の活躍と栄誉を称え「賛辞の盾」および「仙台市議会議長特別表彰」を贈りました。改めて、感動と勇気に感謝するとともに心からお祝い申し上げます。



仙台育英学園高等学校野球部の皆さん

仙台市議会では、第3回定例会が10月6日に終了しました。今回は、コロナ対策・物価高騰による経済支援等、様々な重要課題の対策について議論がなされました。

これらと並行して公明党市議団として、9月9日には「青葉山交流広場を中心とする文化・復興・まちづくりに関する緊急要望」「マイナンバーカードの周知と申請支援の徹底を求める緊急要望」と、市民へのサービス・文化振興に関する要望を市長に提出しました。

仙台市中心部震災メモリアル拠点施設の整備地が、せんだい青葉山交流広場に決定し、音楽ホールとの複合施設整備となります。市議団は、複合施設整備の方針が示されたことを受け、市民の意識調査を実施し、市民のニーズを的確にとらえながら、計画の推進にあたっていくべきと要望。また、マイナポイント設定支援プールの拡充とマイナンバーカードの周知と申請を促すため、ショッピングセンターなどでの出張支援サポートを要望しました。申請期間についても、当初の9月末から年内中と延期されました。今後も、皆様の声を形にしていまいります。

仙台市議会議員  
佐々木まゆみ



2022年9月9日  
公明党仙台市議団は「青葉山交流広場を中心とする文化・復興・まちづくりに関する緊急要望」「マイナンバーカードの周知と申請支援の徹底を求める緊急要望」を仙台市長に提出。

### 佐々木まゆみプロフィール

昭和39年7月仙台市生まれ。平成23年仙台市議会議員初当選(宮城野区選挙区)。現在3期目。  
【仙台市議会】都市整備建設委員会委員。子育て環境充実調査特別委員会委員長。

日々の活動は  
フェイスブックを  
御覧ください。



Facebook



## 日常の暮らしに最も身近な地域活動ならびに、 児童・生徒の安全な環境について議論を展開。

令和4年 第3回定例会 決算等審査特別委員会



### 町内会活動への支援について

【佐々木まゆみ議員】町内会活動の活性化について。町内会加入率が年々低下している現状をどのよう  
に市は受け止めているのか。

【地域政策課長】町内会加入率は平成28年度には  
初めて8割を切り、その後も減少傾向にある。

その背景には、ライフスタイルの多様化や集合住  
宅の増加など様々な要因があるものと考えているが、こ  
うした加入率の減少は地域づくりの中核としての町  
内会の役割低下にもつながりかねないものであり、  
本市のまちづくりにおける大きな課題であると認識  
している。

【佐々木まゆみ議員】平成26年に、まちづくり政策局  
が仙台市町内会等実態調査を行っているがその  
内容はどうか。

【地域政策課長】平成26年度に実施した町内会等  
実態調査の結果からは、役員の高齢化や担い手  
不足が組織運営上の大きな課題であることが明ら  
かになっており、現在でも状況は大きく変わってい  
ないものと承知している。本市では、令和元年度か  
ら町内会の担い手の発掘・育成と円滑な組織運営  
を支援するため、町内会役員の方々を対象とした  
「町内会活性化講座」を開催しているが、今後、  
本市においても人口減少社会の到来が間近に迫  
る中であって、町内会の抱える課題は深刻さを増すこ  
とが想定され、町内会運営支援の意義は一層重要  
になってくるものと認識している。

【佐々木まゆみ議員】町内会で、地域ICTプラット  
フォーム、電子回覧板「結ネット」というアプリを取  
り入れている事例があり、役員の負担軽減にもつな  
がるものとして、今後の町内会の持続的な運営に  
向けて有効な方策の一つであると考えられる。  
本市としても、青葉区の宮城西部地区における電  
子回覧板の実証実験を行った。導入に至った経緯、

今度の取り組み、また課題を伺う。

【宮城総合支所・地域活性化推進室長】宮城西部地  
区は広い地域に世帯が点在していること、高齢化  
率の高さ、冬季の積雪の多さなどから生じる地域特  
有の課題がある。こうしたことを受け、電子回覧板  
の活用による町内会の負担の軽減や効率的な情報  
の共有の有効性等を検討するため、令和4年1月  
より実験を開始した。これまでに、市政だよりや  
町内会が作成した各種チラシの掲載、会議の日程  
調整などの取組のほか、令和4年3月の福島県沖  
を震源とした地震の際には安否や支援の要否の  
確認などに活用した。

現在、利用者登録が対象世帯の2割弱程度にと  
どまっていることが課題であると認識しており、さら  
なる普及を進める必要があると考えている。

【佐々木まゆみ議員】町内会活動におけるデジタル  
活用には、継続的な支援が必要と考えるが、地域へ  
の導入促進についてどう考えるか。

【市民局長】今回の宮城西部地区の電子回覧板シ  
ステムに関わる実証実験については、当該地区の  
特性を踏まえた企画や事業内容であることから、  
こうした地域特性に応じた課題も含めた実証実験  
の結果を十分検証する必要があると感じており、  
その上で、関係部局と協議しながら今後の展開を  
考えていくことが必要だと考える。

### 通学路の安全点検について

【佐々木まゆみ議員】通学路における合同点検状況  
について。通学路の点検については、これまでも  
各学校区ごとに取り組んで頂いており改善もな  
されてきた。これまでの取り組み状況はどうか。

【学事課長】平成26年度に道路管理者、警察機関等  
と連携し「仙台市通学路安全推進会議」を設置し、  
推進体制を整え、通学路の合同点検、通学路の安全

確保に努めてきた。合同点検は、毎年約30校、4年  
で一巡するように実施し、令和3年度で2巡目を  
終えたところであり、順次対策を進めている。

【佐々木まゆみ議員】昨年6月、千葉県八街市で飲酒  
運転のトラックが下校中の小学生の列に突っ込み、  
児童5人が死傷するという大変痛ましい事故が  
発生した。事故現場にはガードレールや路側帯は  
ありませんでしたが、過去に地元小学校PTAから  
ガードレールなどの設置要望が出されており、かね  
てから危険性が認識されていたにもかかわらず、  
結果的には今回の事故が起きるまで、事実上放置  
された状態であったとのこと。

決算年度を含め、過去5年間、教育委員会として各  
小学校から危険箇所の情報や対策の要望をどの  
ようにして吸い上げているのか。

【学事課長】小学校では、例年通学路の危険箇所の  
洗い出しのため、基礎点検を行っており、危険箇所  
で想定される対策案も含めて、教育委員会に報告  
がなされている。この情報をもとに、道路管理者や  
警察機関等と合同点検を行っている。

【佐々木まゆみ議員】先の一般質問で、我が会派の  
佐藤幸雄議員が「交通事故危険箇所の対策の有り  
方」で「事業の見える化が大事」だと質問し、市長  
からも前向きな答弁をいただいた。

対策が困難な箇所については、合同点検に立ち  
会った地域の関係者に対し、丁寧な説明と進捗  
状況をしっかりと伝えること、見える化が大事で  
あると思うがどうか。

【学事課長】本市では、これまでも市ホームページに  
おいて、危険箇所の位置や対策の進捗状況を公表  
してきた。加えて今年度はこれらの情報を地域団体  
やPTAと共有し、安全対策に活用するよう、学校  
に通知をしている。

【佐々木まゆみ議員】学校安全について生活安全、  
交通安全、災害安全の3分野それぞれに対策が  
取られていますが、更にそれらを踏まえて総合的に  
学校安全に取り組むことが各学校に求められて  
いる。その児童生徒の安全を守るシステム作りのた  
めに、セーフティプロモーションスクール認証制  
度がある。

この制度は国も普及を後押ししており、文部科学省  
の学校安全総合支援事業の中で、学校の安全対策

の先進事例としてセーフティプロモーションスクール  
が明示され、委託費から認証取得にかかる経費に  
充てることが可能である。

児童生徒の命を守る学校安全の取り組みである  
セーフティプロモーションスクール認証制度を、  
本市も積極的に調査・研究し、社会の財産である子  
どもたちが安心して伸びやかに成長できる社会を  
目指し、このセーフティプロモーションスクール  
認証制度の取得について検討されてはどうか。

【教育指導課長】各学校において安全指導に開する  
計画を策定し、生活安全や交通安全、災害安全等  
について、保護者や地域、関係機関等と連携を図り  
ながら、様々な対策や取組を行っているところであ  
る。また、学校運営協議会（コミュニティ・スクール）  
の設置に伴い、今後は、地域と学校が連携した協働  
活動の充実が期待されることであり、学校と地域  
が一体となった交通安全・防犯・防災等への取組が  
一層進むものと考えているところである。引き続き、  
児童生徒の命を守り、子どもたちが安心して伸びや  
かに成長できるよう、各学校の取組を支援すると  
ともに、セーフティプロモーションスクールについ  
ても調査研究してまいりたい。

【佐々木まゆみ議員】一日も早く、児童生徒の安全を  
守るシステムづくりのスタートラインに立つという  
強い思いを持って、最大限の努力をしてくことが  
必要だ。まずモデル校を1校選定して認証取得を  
目指すなど、より積極的に取り組むことで、児童  
生徒を守る強い意志を示すことが必要と考えるが  
どうか。

【教育長】生徒の心身の健康を守り、安全・安心を確  
保するためには、各学校が家庭や地域、関係機関と  
連携を図りながら、包括的、持続的に学校安全に  
取り組んでいくことが重要であると認識してい  
るところである。各学校に対しては、引き続き、学校  
安全のための取組を支援するとともに、研修等  
を通じてセーフティプロモーションスクールの内容  
なども紹介しながら、学校安全の更なる充実が図ら  
れるよう、努めてまいりたい。